

受験生は津田沼校舎入り口で手指を消毒後、除菌ブース2基を通り試験会場へ(A日程試験の様子)



NEWS CIT

2021
ニュースシーアイティ 2・3合併号

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼
2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

<https://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行

本学志願者増加数 全国1位

令和3年度入試 志願者数全国2位

志願者数の多い大学10校

大学	今年度		昨年度		増減数
	募集人数	志願者数	募集人数	志願者数	
1 近畿	4,963	135,979	4,958	145,350	▲ 9,371
2 千葉工大	1,379	108,707	1,379	103,269	5,438
3 明治	5,360	99,470	5,370	103,035	▲ 3,565
4 日本	7,709	97,948	7,778	113,902	▲ 15,954
5 早稲田	5,155	91,659	5,415	104,576	▲ 12,917
6 法政	4,224	90,949	4,222	103,628	▲ 12,679
7 東洋	5,634	89,808	5,721	101,776	▲ 11,968
8 立命館	4,797	83,512	4,780	103,669	▲ 20,157
9 関西	3,724	79,526	3,765	87,625	▲ 8,099
10 中央	4,280	77,357	4,315	85,228	▲ 7,871

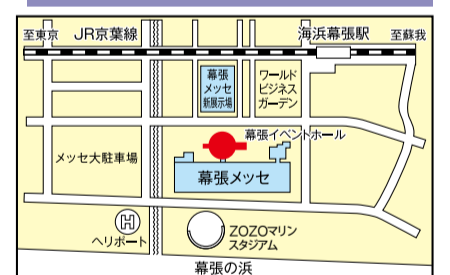
代々木ゼミナール調べ(3/13更新)

ニュースガイド

- 2面 本学建学の精神テーマに朝日教育会議/坂本教授ら脱毛因子阻害する人工RNA開発/赤羽研が自転車安全ルート案内アプリ
- 3面 松田さん学生奨励賞/小川さんも/長嶋さん優秀賞/河野さん学術論文奨励賞/坂野さんらオンライン宇宙セミナー
- 4面 京成電鉄と本学包括協定/尾上教授が日工大生へ講演/千秋上席研究員が中高生に講演/先川原室長がロボ技術授業/佐野教授に学会支部功績賞
- 5面 コロナ禍1年・学生生活一変
- 6面 定年退職の皆さん/タウンキャンパス展示再開

合併号 新型コロナウイルス感染防止策で研究発表の場や催しが自粛されているため、本紙は随時2カ月分を合併号として発行しています。

令和3年度 入学式



令和3年度の入学式は、4月6日(火)午前10時30分から、幕張メッセ・イベントホールで、コロナ禍のためご家族は遠慮いただき、新入生のみが参加して挙行されます。午前10時に開場、学生は当日「学生証」を必ず持参し、開式10分前までに入場してください。式典はライブ配信を予定しています。



試験会場では換気を心掛け、座席は「密」を避けるよう配慮された

総志願者11万人超す

3月5日のC日程入学試験を終え、令和3年度の入学試験が全て終了した。今年の大学入試は新型コロナウイルスの影響を大きく受け、私立大学の一般選抜は志願者数が激減。競合大学が志願者確保に苦戦する中、本学は今年度も志願者数過去最多を記録し、志願者増加数では全国1位となった。志願者ランキングでは6年連続トップ10入りを果たし、今年度では唯一志願者数を伸ばし、全国2位と大躍進した(左上表を参照。3月13日付代々木ゼミナール調べ)

全国の志願者数減の理由として、浪人生の減少 や、コロナ禍による一般選抜の実施に対する不安

から、年内の総合型選抜(旧・AO入試)、学校推薦型選抜(旧・推薦入試)で合格を決めた受験生が多かったこと、感染拡大する都市部の大学への進学を敬遠する地方の受験生が増えたことなど

2021年度志願者数

試験種	今年度	昨年度	増減
	共通テスト利用(前期)	45,537	35,178
共通テスト利用(中期)	5,892	3,701	2,191
共通テスト利用(後期)	2,819	3,120	-301
A日程入学試験	28,829	33,106	-4,277
B日程入学試験	18,266	20,457	-2,191
C日程入学試験	7,364	7,707	-343
一般選抜計	108,707	103,269	5,438

・代々木ゼミナール調べ(3月13日時点)で近畿大に次ぐ2位となり、推薦、一般と合わせた総志願者数は11万2,266人となった。A日程入学試験は1月31日から4日間、本学試験場と17の学外試験場(1月31日、2月1日のみ)で実施された。津田沼会場では受験者への安心安全を考慮し、共通テスト時から受験生にはマスク着用を義務付け、各出入り口に消毒液を設置。試験会場となる6号館入り口には除菌ブースも設け、定期的に換気を徹底した。4日間、試験は特にトラブルはなく終了。今年度、A日程志願者数は2万8,829人となった。次いでB日程入学試験が2月17、18日、また大学共通テスト利用入試(中期)も本学試験場(17日)が行われた。B日程入学試験でも17の学外試験場(17日のみ)と合わせて実施した。2月13日夜、宮城・福島両県で震度6強を観測した地震の影響で、東北新幹線の一部区間運転休止となった。本学担当者は在来線などを乗り継いで地方会場へ駆けつけ対応にあたった。ほかに、北海道での大寒波も心配されたが、全国17会場、津田沼会場ともに日程通り試験は終了した。B日程の志願者数は1万8,266人。共通テスト利用入試(中期)では58,922人という結果だった。3月5日には、C日程入学試験、大学共通テスト利用入試(後期)も本学試験場(5日)で実施された。令和3年度入試が全て終了した。C日程入試には7,364人、共通テスト利用入試(後期)には2,819人が志願した。

光コネクタ接続条件を検討

松田さん学生奨励賞

電子情報通信学会の光ファイバ応用技術研究会(昨年8月27、28日、オンライン開催)で、松田健太郎さん(工学専攻博士課程3年、長瀬亮研究室II写真)の「標準外径マルチコアファイバ用光コネクタのフェルル端微小変形解析(2)」が学生奨励賞に決まり2月5日、表彰状が届いた。



現在、光通信で使われる光ファイバー(シングルモードファイバー:S MF)に代わり、容量がはるかに大きくS MFと同径のマルチコアファイバー(MCF)が提案されている。そのMCF同士を接続するにはファイバー同士を接続できる光コネクタが必要不可欠だ。MCFに使われるファイナル・コンタクト(PC)方式(端面をわずかに湾曲または球状に研磨してファイバー同士を強制的に接触させる)による光コネクタは、継ぎ手フェルル端面の微小変形によって、温度変動があっても光ファイバー・コアの接触を維持する。

マルチコアファイバーの場合、中心以外にコアがあるため、安定なPC接続条件を新たに検討する必要があります。

松田さんは昨年2月の同研究会で、シルコニア(セラミック)製フェルルに標準外径4コアマルチコアファイバーを取り付けた場合のフェルル端面の微小変形を解析して報告。凸球面の中心が偏り、光ファイバーが引き込んだ同コネクタの微小変形について新たな結果を報告した。松田さんは「受賞は、指導いただいた長瀬先生のおかげで、とても感謝しています。さらに成果を得られるように精進します」と語った。

ビジネス理解に欠かせない抽象概念を「ネットワーク外周性」利用者が多いほどサービス価値が向上する「Vニースのロングテール化」多数派のニーズにも少数派にも対応できる「個人間取引と安全性」事業主は資産を直接所有しないため、提供サービスがよくないとプラットフォーム全体に悪影響を及ぼしかねない「3つの整理」。

情報科学部4年生6人にオンラインで被検者になってもらい、長嶋さんが立てた学習設計II。既知知識の活用②抽象化と再具体化③レポートの共有④ディスカッション。長嶋さんは「研究を評価していただき、うれし。3年間、仲林先生と研究室の皆さんのおかげであつた受賞で、感謝しています」と語った。

「宇宙飛行士・山崎直子さんから学ぶ」宇宙飛行士までの道のりや体験談、女性活躍が期待される宇宙業界の展望とは」と題したオンラインセミナーが3月2日、日本ロケット協会の男女共同参画委員会「宙女」に

送入学を専攻する坂野さんは「宇宙のことをやっているといういろいろな分野の寄せ集めが大事と分かる。多分野との交流が新たなことを生み出すサイクルがいい」と応じた。セミナーではまず山崎さんが2010年にスペースシャトル「ディスカバリー」に搭乗、国際宇宙ステーション(ISS)で組み立てミッションを行った自身の体験を踏まえ講演。「宇宙に関する仕事は文系、理系共に幅広い。一方で、どこくまで、人と人のつながりが大事。宇宙はみんなを待っている」と女性に向けてエールを送った。

ITビジネスで学習手法実験

長嶋さん優秀賞

教育システム情報学会の2020年度学生研究発表会(関東地区)は3月8日、オンラインで開催され、長嶋啓太さん(情報科学専攻修士2年、仲林清研究室II写真)の「シェアリングエ

コノミーのビジネスモデルを主題とした学習手法が優秀賞を獲得した。長嶋さんは仲林研で、情報ネットワーク技術を「メルカリ」や「Uber」などネットを介したIT時代のビジネスモデル。経営とITの両面から現代ビジネスを学ぶのに格好な主題だが、仕組みが抽象的な面も。長嶋さんはメルカリ、民泊サービスのAirbnb、Uberの

生かした学習支援方法を研究している。シェアリングエコノミーとは、「メルカリ」や「Uber」などネットを介したIT時代のビジネスモデル。経営とITの両面から現代ビジネスを学ぶのに格好な主題だが、仕組みが抽象的な面も。長嶋さんはメルカリ、民泊サービスのAirbnb、Uberの

「宇宙飛行士・山崎直子さんから学ぶ」宇宙飛行士までの道のりや体験談、女性活躍が期待される宇宙業界の展望とは」と題したオンラインセミナーが3月2日、日本ロケット協会の男女共同参画委員会「宙女」に

今秋、13年ぶりに日本人宇宙飛行士が募集される予定で、山崎さんは「宇宙分野の裾野は広い。体力のハードルがなくマルチタスクでやる宇宙飛行士は女性に向く仕事」。宇宙輸

その後、坂野さん、山崎さん、宇宙航空研究開発機構(JAXA)調査国際部参事の水野素子さんの3人でパネルディスカッションが行われた。子育てと仕事の両立については「むしろ、子育てが宇宙に役立つ。宇宙では優先順位を決めてその都度対応しなければならぬから」(山崎さん)、「宇宙業界は非常にグローバル。いろいろなセンスがあつていいじゃないと語る」(水野さん)、「男性を巻き込んで解決しないといけない」(坂野さん)などの発言があつた。

視覚障がい安全に横断を

小川さん学生奨励賞

情報処理学会の第30回コンシューマ・デバイス&システム研究会(1月25、26日、オンライン開催)で、小川暖斗さん(知能メディア工学科4年、森信一郎研究室II写真)が「視覚障害者向け

信号機付き横断歩道の横断支援システムの開発」を発表。学生奨励賞に決まり2月4日、受賞メールが届いた。

横断歩道には視覚障がい者用に、音響付き信号機やスマートフォンで信号機の色を教えるものがある。しかし安全な方向や位置関係は障がい者の方向感覚に頼るため、どの方向へ踏み出したらい

いのか分からず、一歩目は恐怖を伴うという。小川さんは、障がい者が安全に自信をもって横断するには、安全な方向や渡る先の信号機の位置などを認識する必要があると考へた。

そこでスマホを腕に装着した状態で振って横断歩道を撮影。撮影情報を元に計算することで、安全な方向の算出と、信号の位置を推定する方法を

研究室内に横断歩道を再現し、ハフ変換(図形検出)や角度計算を駆使して、障がい者がかざすスマホに、安全な方向と、先の信号機などを伝える方法を考へた。課題は見えたが、表現はまだ先の段階。研究では視覚障がいを持つ人の感覚が分からないので、いくつかの障がい者団体を訪ねてインタビューしたという。

小川さんは「受賞できたことを大変うれしく思います。協力していただいた視覚障がい者の皆様、共同研究者の松本宝さん(同学科4年)、指導の森教授には感謝しかありません」と語っています。

環境分野の研究者で構成する環境情報科学センターが募集した第20回(2019年度)環境情報科学センター賞で、河野恭佑さん(20年に工学専攻博士後期課程修了、小田原子研究室、現・小学校理科講師II写真)の「都市街区内における熱・放射環境場の時空間変動特性に関する研究」が

学術論文奨励賞に選ばれた。昨年12月18日付で賞状が届いた。17年から東京工業大、建設コンサルタント会社(2019年度)環境情報科学センター賞で、河野恭佑さん(20年に工学専攻博士後期課程修了、小田原子研究室、現・小学校理科講師II写真)の「都市街区内における熱・放射環境場の時空間変動特性に関する研究」が

最後に、教育分野への提案について、坂野さんは「また失敗してしまうのではと考える前に、原因があつて結果があるので、アプローチの方法を学べる機会があるといい」と話した。

街区の熱・放射環境を解析

河野さん学術論文奨励賞

環境分野の研究者で構成する環境情報科学センターが募集した第20回(2019年度)環境情報科学センター賞で、河野恭佑さん(20年に工学専攻博士後期課程修了、小田原子研究室、現・小学校理科講師II写真)の「都市街区内における熱・放射環境場の時空間変動特性に関する研究」が

学術論文奨励賞に選ばれた。昨年12月18日付で賞状が届いた。17年から東京工業大、建設コンサルタント会社(2019年度)環境情報科学センター賞で、河野恭佑さん(20年に工学専攻博士後期課程修了、小田原子研究室、現・小学校理科講師II写真)の「都市街区内における熱・放射環境場の時空間変動特性に関する研究」が

学術論文奨励賞に選ばれた。昨年12月18日付で賞状が届いた。17年から東京工業大、建設コンサルタント会社(2019年度)環境情報科学センター賞で、河野恭佑さん(20年に工学専攻博士後期課程修了、小田原子研究室、現・小学校理科講師II写真)の「都市街区内における熱・放射環境場の時空間変動特性に関する研究」が

学術論文奨励賞に選ばれた。昨年12月18日付で賞状が届いた。17年から東京工業大、建設コンサルタント会社(2019年度)環境情報科学センター賞で、河野恭佑さん(20年に工学専攻博士後期課程修了、小田原子研究室、現・小学校理科講師II写真)の「都市街区内における熱・放射環境場の時空間変動特性に関する研究」が

学術論文奨励賞に選ばれた。昨年12月18日付で賞状が届いた。17年から東京工業大、建設コンサルタント会社(2019年度)環境情報科学センター賞で、河野恭佑さん(20年に工学専攻博士後期課程修了、小田原子研究室、現・小学校理科講師II写真)の「都市街区内における熱・放射環境場の時空間変動特性に関する研究」が

宇宙めざす女性を応援

坂野さんらオンラインセミナー



「宇宙飛行士・山崎直子さんから学ぶ」宇宙飛行士までの道のりや体験談、女性活躍が期待される宇宙業界の展望とは」と題したオンラインセミナーが3月2日、日本ロケット協会の男女共同参画委員会「宙女」に

今秋、13年ぶりに日本人宇宙飛行士が募集される予定で、山崎さんは「宇宙分野の裾野は広い。体力のハードルがなくマルチタスクでやる宇宙飛行士は女性に向く仕事」。宇宙輸



横断歩道には視覚障がい者用に、音響付き信号機やスマートフォンで信号機の色を教えるものがある。しかし安全な方向や位置関係は障がい者の方向感覚に頼るため、どの方向へ踏み出したらい

いのか分からず、一歩目は恐怖を伴うという。小川さんは、障がい者が安全に自信をもって横断するには、安全な方向や渡る先の信号機の位置などを認識する必要があると考へた。

そこでスマホを腕に装着した状態で振って横断歩道を撮影。撮影情報を元に計算することで、安全な方向の算出と、信号の位置を推定する方法を

研究室内に横断歩道を再現し、ハフ変換(図形検出)や角度計算を駆使して、障がい者がかざすスマホに、安全な方向と、先の信号機などを伝える方法を考へた。課題は見えたが、表現はまだ先の段階。研究では視覚障がいを持つ人の感覚が分からないので、いくつかの障がい者団体を訪ねてインタビューしたという。

小川さんは「受賞できたことを大変うれしく思います。協力していただいた視覚障がい者の皆様、共同研究者の松本宝さん(同学科4年)、指導の森教授には感謝しかありません」と語っています。

環境分野の研究者で構成する環境情報科学センターが募集した第20回(2019年度)環境情報科学センター賞で、河野恭佑さん(20年に工学専攻博士後期課程修了、小田原子研究室、現・小学校理科講師II写真)の「都市街区内における熱・放射環境場の時空間変動特性に関する研究」が

学術論文奨励賞に選ばれた。昨年12月18日付で賞状が届いた。17年から東京工業大、建設コンサルタント会社(2019年度)環境情報科学センター賞で、河野恭佑さん(20年に工学専攻博士後期課程修了、小田原子研究室、現・小学校理科講師II写真)の「都市街区内における熱・放射環境場の時空間変動特性に関する研究」が

最後に、教育分野への提案について、坂野さんは「また失敗してしまうのではと考える前に、原因があつて結果があるので、アプローチの方法を学べる機会があるといい」と話した。

コロナ禍1年

学生生活一変

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大で、国内外の大学生生活に大きな影響がありました。本学では入学式やガイダンスの中止はもちろんです。緊急事態宣言で学内立ち入り禁止まで……例年とは全く異なる対応を求められました。2020年の学びのフィールドで、学生はどんな気持ちで過ごしたのか。2人の寄稿と、アンケートへの回答を紹介します。

2020年

4月

- 入学式・ガイダンスを中止
- 緊急事態宣言発令



●iPadを活用した授業（オンライン授業）がスタート

5月



- 一部対面授業開始
- 松井孝典常務理事が第13代学長就任
- 萩生田文科相が新型コロナウイルスに関する学生支援や感染症対策への取り組みを視察

6月

7月

- 日経HR発行「価値ある大学2021年版 就職力ランキング」採用を増やしたい大学で本学が10位に
- ウェブ・オープンキャンパス公開

8月



●入構規制を解除



- 全学科対面授業開始
- 全学生にマスク・マスクケース・食券2万円分を支給
- 全学生・教職員へPCR検査導入
- 令和2年度秋季学位記授与式・秋季入学式
- ウェブ・オープンキャンパス公開
- クラブ・サークル活動を段階的に再開

9月

2021年

10月



- 受験生支援で令和3年度共通テスト利用入試の検定料免除を決定

11月



- 「はやぶさ2」ミッション成功 惑星探査研究センター研究員らの貢献で
- 後期授業終了
- 大学祭をオンラインで実施

12月

1月



- 大学入学共通テスト利用入試（前期）・過去最多志願者数を記録
- 6号館に除菌ブース設置

2月

- A日程入試、B日程入試
- 大学入学共通テスト利用入試（中期）

3月



- C日程入試
- 大学入学共通テスト利用入試（後期）
- 学位記授与式

対面授業の復活に喜び

応用化学科4年 酒井 祐輔さん

これまで自由に行動していた毎日が一変し、生活様式自体は変わりました。人が多いところや電車に乗ることも極力避けるようになりました。

大学構内への立ち入りが禁止となり、いち早くオンライン授業に切り替わった

ここで、オンライン授業自体は自分の都合に合わせて受けられる点や気になるところを何度も確認できたため、不自由に感じることはありませんでした。ただ、オンライン授業に慣れたところで、突然来週から対面！となったときは、うれしい反面、少し急な

決して、自由には大学へ入構できませんでしたが、入構時間が制限されていたことで、時間を無駄なく効率よく研究に使えるようになりました。体重が10kg減ったことは、コロナ禍ならではの出来事で、びっくりしています。



また、友人と直接接する機会が減ったものの、コロナ前よりもラインや電話、ZoomなどのSNSツールを使い、まめに

連絡をとっていたため、会えない寂しさは感じませんでした。むしろ、いつもより会っているのでは？と感じていたかも（笑）。入構が可能になってからは、研究室の友人らと卒業研究に没頭する毎日でした。

旅行や送別会中止が残念

情報ネットワーク学科4年 板谷 英志さん

講義の形態が主にオンライン形式に変わったことが、やはり、コロナ禍における一番の変更点でしょうか。

が活発になったと感じるしかなかった。特に、後期から新習志野キャンパスで学生サポートセンターでの（SA）の活動が再開できたことはひとしおです。SAの活動を通して、2年生の疑問に答え、勉強面

最近、35歳で全日本卓球選手権個人単に初出場した岩城積さんの卓球人生について知る機会があったのですが、25年間努力する姿を目の当たりにし、自分も諦めずに何かに挑戦してみようと思いました。ただ、最後の年でもあり、多くの友人と旅行や送別会など企画していたことがすべて中止になってしまい、本当に残念です。



この環境下で改めて学んだことは、人と人とのつながりがとても大切であると

た、進学や留年などの相談にも乗ることができたので精神面もサポートできたのではないかと思います。

どんな日常？ アンケート

▼授業・学びについて

先生のスライドが見やすく、声が聞きやすかった。好きなタイミングで受講ができ、また、家が遠いため、これまでの通学時間も有効に利用できた。資格取得のための勉強にも挑戦しました。（応化2年）

後期の授業で約半年ぶりに学科の友達みんながそろった時、うれしかった。（材料3年）

前期の間は入構制限のため、研究が思うように進まなかった。リモートの機会が増えたため、併せてPC周りの環境を整えた。（PM4年）

PCやスマホ、iPadを見る時間が増えた。オンデマンド授業が多いと、スケジュールを自分なりに工夫できた。視力が下がった。（応化3年）

画面見る時間が増えた
筋トレ、車免許を取得

▼生活や友達との付き合い

外出は極力控えていたため、交通費を抑えられました。ただ、外出する際はマスクをつけないと不安に。運動不足を感じ、自宅で筋トレを始めました。（都市4年）

友人に会える機会が減って寂しかった。1日何もしない日もあったが、Zoomなどを利用して友人と話すことも、慣れば楽しく感じました。（PM3年）

気軽に遠出しなくなったが、オンライン開講を利用して自動車教習所に通い、免許を取得しました。（経情3年）

大学祭のスタッフとして、最後までやり遂げることが出来たことは感動した思い出です。（NS3年）

▼就職・就職活動

入試広報課学生スタッフでの経験が、グループワークに役立ち、あまり緊張せずいつも通りに参加することができた。（機電3年）

インターシップに参加したことや、試験問題の対策をしたこと、学友会の活動を通して人と接する機会が多かったことが内定に結び付いたと思う。（都市4年）

職員（4人）



小笠原 茂（総務課・自動車運転手）

入職以来、皆様の協力を得まして充実した勤務ができました。心より感謝申し上げます。



柿山 正美（学生センター・部長）

大変お世話になりました。とても感謝しております。



國京 正典（新習志野学生課・警備員）

伝統ある本学で、皆様のおかげで楽しく勤務させていただきました。誠にありがとうございました。



鈴木 恵子（学務課・担当課長）

楽しい46年間をありがとうございます

定年退職の皆さん

3月に定年を迎えられた教職員の皆さんを紹介いたします。大学と学生たちに、思い出と励ましの言葉を残してくださいました。（敬称略）

教員（6人）



伊與田 光宏（情報工学科・教授）

1983年に着任し、88年に新設された情報工学科に移籍し、同学科に33年連続勤務いたる貴重な経験ができました。



菅原 研次（情報ネットワーク学科・教授）

皆様のご活躍をお祈りします。



浮貝 雅裕（情報ネットワーク学科教授）

私にとって千葉工業大学は第二のふるさとです。長い間、大変お世話になりました。ありがとうございます。



佐野 正利（機械工学科・教授）

多くの皆様のおかげで充実した楽しい日々を過ごすことができました。心から感謝申し上げますとともに、千葉工大の益々の発展を願っております。



鈴木 誠（都市環境工学科・教授）

がんばれ、千葉工大生！



山田 丈富（建築学科・教授）

長い間ありがとうございました。千葉工業大学の益々の発展を願っております。

エリアI、II 展示再開

■ コロナ休館のタウンキャンパス



新型コロナウイルスで緊急事態宣言が発令され、本学は東京スカイツリータウン（月）から再開することになった。

休館中にエリアI「ロボット技術・人工知能センター」では、未来ロボット技術研究センター（fURO）と（株）パナソニックの混成チームが製作したコンセプトモデルをベイスにパナソニックが製品化したロボット掃除機「RULO（ルーロ）」の展示を増設し写真、エリアII「惑星探査ゾーン」では、小惑星探査機「はやぶさ2」展示パネルに地球帰還と拡張ミッションの説明を加えるなど、これまで以上に見どころ満載となっている。

PPA



昨年コロナ発生から約1年、教育現場として対応に追われた年になりました。

大学は専門教育を学ぶとともに人間力を育てる場としてもその役割を担っています。人は人と接することに人として成長していきます。対面での授業で教職員や学

生同士の会話や課外活動等における先輩後輩を含む多くの学生間で同じ目的、目標をもった行動は成長の過程での大きな要素となります。これらの大切な機会を損なわないように、このコロナ禍においても大学としては可能な限りのコロナ感染症の予防措置をとり、これからの対面授業や課外活動の機会を確保していきたいと考えています。学内においても様々な取り組みを行なっていきます。大学事務局 小川 靖夫

四季雑感



人並みにSNSを始め10年くらいになる。主にはFBなのだが、日記もつけた事なく諸々長続きしない性格の割には投稿している。

当初はタブレットを使っていて、スマホへの切り替えが遅めだったので、学生プロジェクトなどの投稿が多かった。ス

マホにした後は、食べたものや旅行など個人的なものを備忘録代わりにアップする事が多くなった。今では「過去の投稿をシェアしますか」という報せで、数年前の卒業生連との記念撮影を撮って歳月を感じたり、旅行写真で季節を感じたりするのも楽しんでる。写真としては夕陽が好きでハワイの夕陽や近所のモーター駐車場から見える日常の夕景もアップしている。中でも研究室の

編集だより



恒例の花粉の到来。鼻のムズムズ、目のしょぼしょぼ……。さえない毎日が続いている。

3月は学生との別れの季節であるため、こんなさえない日々が、余計に切なくさせるのだ。教職員、学生ともに、今年度はこれまで経験したこと

のない、特別な1年であった。入試広報課は、学生との関わりがとて多く、嬉しいこと、悩んでいること、夢中になっていること、学びのことなど、普段私たちが考えてもいないようなことを提供してくれている。学生たちの「気持ち」に触れることで、知らず知らず私たちの背筋がピンッと伸びるのだ。入試広報業務に携わってくれる学生スタッフ

大橋 慶子